

東京民医連

# 東日本大震災 ニュース

2011年4月13日

No.49

発行：東京民医連事務局

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

電話：03-5978-2741

FAX：03-5978-2865

メール：[sien@tokyominiren.gr.jp](mailto:sien@tokyominiren.gr.jp)

## 民医連外にも広がる支援の輪

～健和会と連携するクリニックが支援に～

健和会と連携する八柱三和クリニック(千葉県松戸市)の看護師が、『何かできることはないか、何かしたい!』と、東都協議会第7次被災地支援に参加(4月15日～4月21日)してくれました。

### 被災地支援に看護師を派遣

八柱三和クリニックでは、被災地の支援に看護師1名を派遣することになりました。他の法人の支援チームに合流しての派遣ですが、「私が行きます」と申し出た看護師がおり、4月15日から被災地へ行きます。震災直後から支援隊を派遣しているチームで、第7次隊の一員として参加します。必要な支援の内容も、だんだん変わってきているとのこと。看護力の高い看護師ですので、その場に応じて適切な活動をしてきてくれると思います。

募金も集めました。職員や職員の家族から集まった募金は、まとまった額になりましたので、信頼できる先に託しました。ひとりひとりの思い・・・届きますように。活かされますように。

(八柱三和クリニックブログ 2011/04/08より)

### 現地支援レポート (中野共立病院 医師 谷川 智行)

私は、午前・午後と避難所の1つである天真小学校で活動し、5人ほど診察。

建物内のトイレは使えず、校庭にある仮設トイレを使用。仮設トイレの汚れがひどく、夕方、看護スタッフを中心に清掃実施した。

そのなかの患者さんの一人、29歳男性は自宅の整理に一時帰宅した際、家の前で転倒し手の平に軽い挫創が見られた。傷自体は軽かったが、転倒した場所が津波の際のヘドロで汚染されている場所だったこともあり、破傷風予防のため病院に誘導。(数日前に、破傷風発症事例あったとのこと)。他には、慢性疾患があり定期受診が必要だが移動手段がなく受診が困難という方が少なくない。周辺の開業医さんは、ほぼ診療を再開しておられるとのこと。医療機関へ行く移動手段さえあれば、という方は多い。

4月7日の地震で怪我をした方が多かったとのこと。坂総合病院の救急外来には、はっきりなしに患者さんが来院され、6～7割が外傷だった。

7日の揺れは、最初の地震より強かったという方が何人もおられた。特に縦揺れがすごかった。前には落ちなかった物がたくさん落ちてきたという方、この余震で家が潰れてしまったという方もいらした。

元気を出そうと頑張っておられた方の中にも、「せっかく片付けしてたのに・・・」「いつまで続くんだろう・・・」など、ショック、不安が広がっている印象。遊んでいる子どもたちは一見元気そう。一方、お母さんから離れなくなった子どもも少なくない。